

校内研修計画

山梨市立日川小学校

1 学校課題

全国学力学習状況調査や県学力把握調査の結果から、本校の児童たちは、基礎基本の定着が十分でないという実態が明らかになった。活用学習においてもその影響が見られ、自分の考えを書いたり伝えたりすることに苦手意識をもっている傾向がある。知識や技能の確実な定着と自分の考えを表現することに、本校の課題が見られる。また、家庭学習の習慣化にも引き続き取り組んでいく必要がある。

2 研究主題

確かな学力の定着・向上をめざして
～より充実した活用学習と学級力向上への取組～

3 主題設定の理由

本校では、山梨県学力向上パイロットスクール事業で取り組んだ活用学習と学級力向上プロジェクトの二本立てで研究を積み重ねてきた。活用学習では、習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用して、三段階思考法で自分の考えを書く活動を行ってきた。その結果、まだ個人差はあるものの、子どもたちに論述する力が身につけてきている。

活用学習を実践してきて言えることは、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着の必要性である。習得が十分にできていないと、活用は難しいということである。そのために、日常的に基礎・基本を重視した取組や言語活動を手立てとした取組を行い、子どもたちが、「分かつた。」

た。」

「できた。」「楽しい。」と思えるような授業を展開していくことが求められる。子どもたちの思考力、判断力、表現力や学習意欲を高めるために、学級の状況や子どもたちの実態を

的

確に把握し、児童の側に立った授業づくりを考えていきたい。

また、子どもたちによりよい学級づくりを意識させ、学年の発達段階に応じた活動を展開していくことで次第に学級力が高まっていくことも分かってきた。今よりもよい学級をめざして取り組んでいくことで学級としてのまとまりが見られるようになり、学習活動にもプラスの影響が働くと考えられる。

このような実践を積み重ねていくことによって、やがて子どもたちの学力や教師の指導力、さらに学級力の高まりが図れると考え、このテーマを設定した。

4 研究の具体的内容と方法

【内容】

- 活用学習 … 今までに実践した単元の内容をさらに深めていくとともに、それ以外の単元の活用学習も広げていく。1年生も算数科での活用学習に取り組む。
- 学級力 …… 学年の実態に合った取組(スマイルアクション)やアンケート項目の検討などの内容を充実させていく。
- 英語 …… 英語科の取組について学習会(研修会)を行う。
- 朝学習, 家庭学習, 授業見学, 自学ノート展示会などの取組を進める。

【方法】

- 授業実践について
 - ・全体研究授業1回 (活用学習)
 - ・山梨南中ブロック公開授業2学級 (活用学習・学級力)
 - ・一人一実践 (活用学習・学級力)
- 学級力向上

- ・学級力アンケート，レーダーチャート，スマイルアクションを継続していく。
- ・全学級で情報交換を行う。（年3回）

年間校内研修計画

研究主任 水上久美

子

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
確かな学力の定着・ 向上をめざして ～より充実した活用 学習と学級力向上へ の取組～	学級活動・学級力向上 ～1学期の取組を 振り返って～	水上久美子	3年	7月上旬	
	算数科・活用学習 ～速さの表し方を 考えよう～	岩下秀人	6年	10月中旬	○
	算数科・活用学習 ～わり算のしかたを 考えよう～	小林みずほ	4年	10月	
	算数科・活用学習 ～単量あたりの大きさ 比べ方を考えよう～	中山貴彰	5年	11月	
	学級活動・学級力向上 ～2学期の取組を 振り返って～	小川真知子	2年	12月上旬	
	算数科・活用学習 ～計算ピラミッド たし算・ひき算～	行田玲子	1年	1月20日 (公開授業)	
	学級活動・学級力向上 ～1年間の取組を 振り返って～	志村貴美子	5年	1月20日 (公開授業)	

- 全体研究授業 …………… 岩下（活用学習）
 ○山梨南中ブロック公開授業 …… 行田（活用学習） 志村（学級力）
 ○部会内研究授業 …………… 中山（活用学習） 水上（学級力）
 …………… 小林（活用学習） 小川（学級力）